

月刊 千葉労働

国鉄千葉動力車労働組合

〒280 千葉市要町2番8号(動力車会館)

電話 (鉄電) 千葉 2935・2936 番
(公) 千葉 (22) 7207 番

1989.5.7 No.3023

動労千葉結成10周年!



警官隊と対峙して街頭を埋め尽くしたシカゴ労働者(%)

五月一日はメーデーである。今日のメーデーは、「働く者の祭典」としてきわめて盛大になった。一九八四年には「連合」の前身である「全民労協」が「統一メーデー」の主催団体に加わり、八五年の中央メーデーでは「国立競技場でスポーツ祭典」も加わり、まさしく「お祭り」になってきている。

今年の中米メーデーは、「連合」問題をめぐり三分裂し、「連合」総評、「統一労組懇」、都労連などの組合が三つの会場でバラバラに開催する。

（一八八六年五月一日 米・シカゴ）

「八時間労働」を要求し、ゼネスト

当時、労働者は低賃金と悲惨な労働環境、一日十数時間におよぶ長時間労働で苦しんだ。



血のメーデー 五二年五月一日に皇居前広場で警官隊の挑発で引き起こされたデモ隊との流血事件。第三回メーデーの皇居前広場使用禁止に怒ったデモ隊約六〇〇人が、解放地の神宮外苑から皇居前広場に流れしてきたのに対し、約五〇〇人の武装警官隊が突っ込み、ビートル銃射と棍棒での殴打により二人の死者、騒乱罪の発動による一三三〇人の逮捕者を出した。なお、二百数十名の被告をかかえたメーデー事件裁判では、二〇〇年後に「騒乱罪不成立」の判決が確定した。

一八八一年に設立された「合衆国カナダ職能労働組合連盟」は、もはや力でたたかろうばかりではないと判断し、八時間労働獲得のためのゼネスト決行を決定した。この決定はアメリカの広範な労働者の心をつかみ、ふるいたたせた。

八六年五月一日、ついにゼネストの日がきた。シカゴを中心に、全米で三十五万の労働者が資本・



アップで絞首台に吊る指導者

だが、労働者の団結の力に恐怖したシカゴの資本家たちは、ただちに警察と私立探偵局を動員して反撃を準備した。

五月三日、ストライキ中のマコーミック・ハーベスター工場に四百名の

警官隊の弾圧に屈せずゼネストに立ち、街頭を埋め尽くした。成果は大きかった。約二〇万人の労働者が労働時間の短縮を雇主に約束させた。

（同年五月三日）

ハイ・マーケット・大弾圧

本日はメーデー

「労働『統一』」をめぐり労働運動が、資本の下へ組み込まれ、屈服路線、帝国主義的労働運動へと変質させられようとしている現在、来年で一〇〇年を迎えるメーデーを今一度問い返す必要を痛感する。

開催されたのである。

「労働『統一』」をめぐり労働運動が、資本の下へ組み込まれ、屈服路線、帝国主義的労働運動へと変質させられようとしている現在、来年で一〇〇年を迎えるメーデーを今一度問い返す必要を痛感する。



しかし労働者はくじけなかった。再編された「アメリカ労働総同盟（AFL）」は再び八時間労働日実現のため全力決起を決定し、折から結成された「第二インターナショナル」（一八八九年）

（一八九〇年五月一日）

国際メーデー決定

と連携し、全世界労働者と手をつなぎ前進した。一八九〇年五月一日、全世界の労働者が一斉にスト・デモに立った。第一回の国際メーデーの発足である。

警官隊に守られた三千三百名のスト破りが送りこまれ、無差別発砲で四名の労働者を虐殺、多数を負傷させた。翌四日夕刻、弾圧に抗議する三千名の労働者がハイ・マーケット広場に集まった。集会を終え、平穩裡に解散に移った瞬間、警官隊が広場に突入、何者かが警官にむけ爆弾を一発投げたのを合図に、一斉射撃が行なわれ、数名が射殺され二〇〇名の重軽傷が出された。

この事件を合図に一斉弾圧があいつぎ、組合指導部を中心に数百名が逮捕され、「多数の武器が発見され」「無政府主義者の陰謀」ときめつけ、当日集会で演説したスパイス、パーソンズ、フィールデンその他計八名の指導者が証拠もなく一方的な裁判で死刑に処せられてしまった。労働運動は後退を余儀なくされ、ゼネストで勝ちとった八時間労働の協約もほとんどが反古にされた。

（事件から三年後、シカゴ警察署長の証言で、警察のしくんだ謀略であったことが明らかとなった）